

令和8年度 学力向上を図るための全体計画



東大和市立第六小学校

- 東京都教育目標
- 東大和市教育目標 等

学校教育目標



- ◎よく考える子
- 力を合わせる子
- たくましい子

○特別支援教育の推進

特別支援教室との連携

○地域と共にある学校

良い学校がよい地域をつくる。よい地域が良い学校をつくる。

- ・保護者・地域への情報発信【開かれた学校づくり】
- ・地域人材の活用・地域を素材とした学習の展開
- ・大和東保育園との交流
- ・ボランティア活動など児童の地域貢献推進

○小中一貫教育

- ・第三中学校との交流
- ・小中一貫共通プログラム
- ・職員の合同研修会

教科指導の重点

- ・主体的に学習に取り組む態度の育成「分かる、できる、楽しい」授業
(ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり)
- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
(算数の習熟度別少人数指導(2～6年))
- ・言語活動の充実
(話し合い活動のある授業)を通した思考力・判断力・表現力等の育成
- ・一人一台端末の効果的活用

学校経営方針

○めざす学校像

「子供と大人の笑顔があふれ、地域から愛される学校」

- (1) 児童の可能性を伸ばし、社会生活の基礎を育む学校
- (2) 教職員が支え合い、高め合う学校
- (3) 家庭・地域と交流し、地域から信頼される学校

◆学習指導

「目的意識をもった学び」を大切にし、課題を見出し解決できる力を育成する。

◆心の教育・特別活動

生命(いのち)と心を大切にし、自己有用感と共生する力を育成する。

◆体育健康教育・道徳教育・安全教育

体育健康教育の学びを深め、心身共にたくましい子供を育成する。

◆生活指導

行動の背景を想像し、立場に共感しながら、子供の心に寄り添い指導する。

◆地域協働

地域に根ざした特色ある教育を推進し、子供の成長を温かく見守る大人の輪を構築する。

道徳教育の指導の重点

学校全体で取り組む

道徳教育

及び道徳的態度の育成

- ・「特別の教科 道徳」として、「考える道徳・議論する道徳」の実践を推進する。
- ・互いに認め合える場の設定。
- ・よりよい人間関係を築く言語環境を整える。

総合的な学習の時間の指導の重点

- ・地域人材を活用し、その専門性を生かした体験的・感動的な学習活動を推進し、地域とともにある学校を目指す。
- ・各教科・領域との関連を図り指導方法を工夫・改善し、問題解決能力を育成する。

本校における「確かな学力」



新しい時代に必要な資質・能力の育成

何ができるようになるか

育成すべき資質・能力を育む観点からの学習評価の充実

何を学ぶか

どのように学ぶか

- ・各教科の目標や内容の見直し
- ・英語の能力の強化
- ・生きる力の育成
- ・アクティブ・ラーニングの視点からの改善
- ・主体的・対話的で深い学びの過程

生活指導の重点

- 「規律の中の自由」
- ・基本的生活習慣の育成
- ・学習規律・規範意識の向上
- ・あいさつ・言葉遣いの重点化指導
- ・第三中学校グループで生活指導の連携を図る。
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・いじめ未然防止・早期発見早期対応・解決に取り組む(第六小学校SNSルール)
- ・スクールカウンセラーを加えた校内体制の充実
- ・保健教育、食育指導の充実
- ・学校保健委員会の推進

特別活動の指導の重点

- ・自発的・自治的な活動を行うことで、友達と協力することの大切さや達成感を味わわせる。
- ・異学年間の交流を図り、リーダーを育成すると共に、他学年への思いやりを養いながら、友達とかかわる楽しさを感じさせる。

キャリア教育(進路指導)の充実

- ・望ましい職業観や勤労観を育て、児童の将来に対する目的意識をもたせる。
- ・[生きる力]の育成に努める。
- ・キャリアパスポートを活用し目標をもって過ごすようにする。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○「学習スタンダード」による学習規律の定着 ○問題解決学習の積極的導入 ○児童の実態に合った習熟度学習指導の工夫 ○東京ベーシックドリルの活用 ○授業改善推進プランを基にした学習指導の計画 ○読み書きアセスメントの実施 ○GIGAPCを活用した授業づくり ○AI型学習教材(Qubena)を活用した指導	○児童の実態を把握、それに応じた適切な教育課程の編成 ・指導計画、評価計画の実施状況の確認 ・モジュールの充実 ・読書環境の整備 ・親子読書の奨励 ・言語能力向上に向けた詩の暗唱 ・インクルーシブ教育の推進	○体育の授業改善、楽しい運動機会の創出、児童の生活習慣の見直しを切り口とした体育健康教育の推進 ○三中ブロックでの重点課題合同研修 ○OJT研修会の実施 ○offJTへの参加	○全国・都学力調査の分析による授業改善 ○各教科評価計画の見直し ○指導と評価の一体化 ・個々の学習状況の把握と適切な支援の実施 ・児童自ら自己評価ができる授業の工夫 ・東京ベーシックドリルの診断シートを効果的に活用	○子供たちの成長などを積極的に発信 ・学校公開やホームページ、諸たよりの発行 ○地域を素材とした学習の展開 ・自然・文化・伝統及び技術等を積極的に取り入れた教育活動 ○家庭学習の習慣化 ・「家庭学習の手引き」の配布・活用 ・音読の宿題の統一化

